



Nways Manager for Windows NT

インストール・ガイド

バージョン 2.0



Nways Manager for Windows NT

インストール・ガイド

バージョン 2.0

お願い

本書、および本書がサポートする製品（またはプロダクト）をご使用になる際、その前に、25ページの『付録. 特記事項』を必ずお読みください。

本書は、IBM Nways Manager for Windows NT バージョン 2.0 に適用されます。

本マニュアルについてご意見やご感想がありましたら

<http://www.ibm.co.jp/manuals/main/mail.html>

からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.infocr.co.jp/ifc/books/>

をご覧ください。（URL は、変更になる場合があります）

原 典： SK2T-0417-05
Nways Manager for Windows NT
Installation Guide
Version 2.0

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1997, 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

目次

本書について	v
本書の対象読者	v
本書の使用法	v
関連資料	v
第1章 はじめに	1
デモンストレーション・バージョン	1
Nways Manager について	2
ハードウェアおよびソフトウェア要件	3
第2章 Nways Manager バージョン 2.0 への移行	5
第3章 インストールの開始	7
Nways Manager のインストールの前に	7
第4章 Nways Manager のインストールと構成	11
Nways Manager バージョン 2.0 へのアップグレード	11
製品のインストール	11
デプロイメント・マネージャー	11
ライセンスの管理	12
ライセンスのアップグレード	12
ライセンス・ノード数の増加	12
モニターするノードの決定	12
Java ベースの分散インテリジェント・エージェントのインストール	13
DB2 ユニバーサル・データベース	13
DB2 データベースの消去	15
JDBC 対応データベースへの接続時に生じる可能性のある問題	15
Web ブラウザーから Java ベース管理アプリケーションへのアクセス	17
Web サーバー	17
JDK 1.1.6 準拠 Web ブラウザー	18
動的 IP アドレスで Nways Manager の使用	19
Java ベースの管理アプリケーション・ヘルプへのアクセス	20
機器構成プログラムについて	20
第5章 Nways Manager のアンインストール	23
Nways Manager のアンインストール	23
付録. 特記事項	25
商標	25

本書について

本書は、IBM Nways Manager for Windows NT (Nways Manager) をインストールするために必要な説明を行います。

本書の対象読者

本書は、Nways Manager のインストールと構成の担当者の方を対象にしています。

本書の使用方法

本書の構成は次のとおりです。

- 『第1章 はじめに』、「はじめに」では、Nways Manager のコンポーネントを紹介して、Nways Manager がサポートする IBM ハードウェアを示し、さらに Nways Manager を使用するためにハードウェア要件とソフトウェア要件を示します。
- 『第2章 Nways Manager バージョン 2.0 への移行』、「Nways Manager バージョン 2.0 への移行」では、本製品をアップグレードする際の重要な注意事項を示します。
- 『第3章 インストールの開始』、「インストールの開始」では、メイン・インストール・プログラムを紹介します。このプログラムによって、さまざまな製品コンポーネントをインストールできます。
- 『第4章 Nways Manager のインストールと構成』、「Nways Manager のインストールと構成」では、Nways Manager のインストール手順を示します。
- 『第5章 Nways Manager のアンインストール』、「Nways Manager のアンインストール」では、Nways Manager のアンインストール手順を示します。

関連資料

次の資料は、Nways Manager ライブラリーの資料、またはこのライブラリーに関連性が高い資料です。

- *Nways Remote Monitor for Windows NT インストール・ガイド*、SB88-7424
- *Nways Manager for Windows NT User's Guide*、SA27-4194
- *Nways Remote Monitor for Windows NT ユーザーズ・ガイド*、SA88-7011

第1章 はじめに

本章では、Nways Manager を簡単に紹介し、Nways Manager がサポートする IBM ハードウェア・コンポーネントのリストを示し、Nways Manager を使用するためのハードウェア要件とソフトウェア要件に関する情報の入手方法を示します。

Nways Manager のパッケージは、次のコンポーネントから構成されています。

- Adobe Acrobat Reader、バージョン 3.01 (オンライン・ブックの表示に必要)
- Nways Remote Monitor for Windows NT
- Nways Manager。Java ベースの分散インテリジェント・エージェントが含まれていません。
- IBM DB2 ユニバーサル・データベースのエンタープライズ拡張エディション、バージョン 5.2。Nways Manager for Windows NT、バージョン 2.0 でのみ使用できます。
- Tivoli NetView IT Director Edition バージョン 5.1

最新の技術情報 (前提条件およびサポートされている Web ブラウザーなど) を入手したい場合は、Nways Management Web ページ (<http://www.networking.ibm.com/netmgt>) にアクセスしてください。

重要

以前のバージョンの Nways Workgroup Manager または Nways Manager for Windows から Nways Manager バージョン 2.0 に移行する場合は、必ずこれらの以前のバージョンをアンインストールしてから、Nways Manager バージョン 2.0 をインストールしてください。

デモンストレーション・バージョン

Nways Manager および Remote Monitor のデモンストレーション・バージョンを使用すると、60 日間無料で製品を試すことができます。製品のデモンストレーション・バージョンをインストールしている場合、試用期間の 60 日が過ぎると作動しなくなります。

デモンストレーション・バージョンをインストールすると、その試用期間が過ぎた後でも、蓄積したデータを失うことなく、いつでも正式のライセンス版へのアップグレードが可能です。詳しくは、IBM 営業担当員にお尋ねください。

重要

次のリストは、IBM Nways Manager 製品のオフリングとそこに含まれているコンポーネントを示しています。

Nways Manager

Nways Manager for Windows NT のデモンストレーション・バージョン

Nways Remote Monitor for Windows NT のデモンストレーション・バージョン

IBM DB2 ユニバーサル・データベース エンタープライズ拡張エディション バージョン 5.2 (別の CD-ROM で)

Adobe Acrobat Reader

Tivoli NetView IT ディレクター版、バージョン 5.1

Nways Remote Monitor

Nways Remote Monitor for Windows NT

Nways Manager for Windows NT のデモンストレーション・バージョン

Adobe Acrobat Reader

Nways Manager について

IBM Nways Manager for Windows NT バージョン 2.0 は、1 つのシンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 管理プラットフォームで、Microsoft Windows NT バージョン 4.0 環境において統合された異種 SNMP 管理を可能にする、一連のグラフィカルな機器管理用アプリケーションを装備しています。これは、HP OpenView または Tivoli NetView をプラットフォームとして使用し、SNMP 対応のワークステーション、ハブ、ルーター、ブリッジ、スイッチ、およびアダプターにおいて、障害、パフォーマンス、構成、アカウント、セキュリティの各分野での管理を行い、使いやすいグラフィカルなネットワークと機器の表示を行います。Nways Manager は、エンタープライズ内のどこからでも機能させられます。

Nways Manager 内で提供される Java ベースの管理サポートによって、ご使用のイントラネットやインターネットから、そしてローカル NT ワークステーションからも、ご自分の装置が管理できるようになります。お使いの Java-Soft JDK-1.1.6 対応 Web ブラウザーを使用すれば、エンタープライズ内のどこからでも Nways Manager の機能にアクセスできます。

Nways Manager と Nways Remote Monitor (ReMon) の両方を購入された場合、RMON をサポートするほとんどの装置に使用できる RMON カップリングが特別に追加されます。RMON カップリングを使用すると、それらの装置用のグラフィカル管理アプリケーションで、Nways Remote Monitor からこれらの装置に提供された RMON、RMON2、ECAM データにシームレスにアクセスし、表示することができます。

サポートされているハードウェアの全リストが必要な場合は、IBM の Web サイト (<http://www.networking.ibm.com/netmgt>) にアクセスしてください。

Nways Manager は、Java 対応分散インテリジェント・エージェント (DIA) を介してネットワーク情報を収集します。ネットワーク管理ステーションには、デフォルトで DIA が 1 つインストールされています。このエージェントがネットワークを介して分散されると、マネージャー・ワークステーションから情報のポーリングをオフロードすることができ、それにより、マネージャー上のプロセッサが解放できます。また、ポーリングされている機器に近いところからポーリングを行えば、WAN リンク上の帯域幅を解放することもできます。このエージェントは、例外 (しきい値を超過) が起こったときに Nways Manager に通知するように構成設定できます。このエージェントは、ネットワーク内の任意の Java 対応 (Java 仮想マシン) ワークステーションに置くことができます。

Nways Manager のパッケージには DIA 登録済みエージェント・アクセスが 1 つ組み込まれています。 DIA の追加は、追加の登録済みエージェント・アクセスと一緒にできません。追加の登録済みエージェント・アクセスは、数量が 1 個 (パーツ番号: 4300381)、5 個 (パーツ番号: 4300382)、および 10 個 (パーツ番号: 4300383) の単位で入手できます。これらをお買い求めになる場合は、IBM 営業担当員、または IBM ビジネス・パートナーにご連絡ください。

この機器のパフォーマンス管理では、パフォーマンス情報の保管のために、Java データベース接続 (JDBC) 準拠のデータベースが必要です。JDBC 準拠の IBM DB2 ユニバーサル・データベースのエンタープライズ版、バージョン 5.2 が、別個の CD-ROM で Nways Manager と一緒に提供されます。この **DB2 のコピーは、IBM Nways Manager for Windows NT のライセンス使用に関連している場合にだけ使用できます。**

ハードウェアおよびソフトウェア要件

Nways Manager for Windows NT バージョン 2.0 には、HP OpenView Network Node Manager on Windows NT バージョン 5.0.1 以降、または Tivoli NetView-IT Director Edition バージョン 5.1 以降が必要です。これらは Nways Manager のプラットフォームとして機能します。

注: HP OpenView Network Node Manager on Windows NT バージョン 5.0.1 を使用している場合は、Nways Manager バージョン 2.0 をインストールする前に、HP OpenView Web サイトで現在使用可能なパッチをすべてインストールする必要があります。

お使いのマシンにどちらもインストールしていない場合は、添付されている CD に入っている Tivoli NetView-IT Director Edition バージョン 5.1 をインストールして、このプログラムと一緒に使用できます。

ハードウェア要件とソフトウェア要件の全リストが必要な場合は、IBM の Web サイト (<http://www.networking.ibm.com/netmgt>) にアクセスしてください。

第2章 Nways Manager バージョン 2.0 への移行

Nways Manager バージョン 2.0 にアップグレードするには、必ずこのプログラムの以前のバージョンをすべてアンインストールしてから、バージョン 2.0 をインストールしてください。

注意!

以前のバージョンをアンインストールすると、そのバージョンのプログラムを使用して保管されている構成もすべて失われます。

第3章 インストールの開始

Nways Manager のインストール・プロセスはそのかなりの部分が自動化されています。本章では、重要な準備情報を紹介し、インストールの開始方法を説明します。Nways Manager のインストールに関する最新情報を入手するには、IBM の Web サイト (<http://www.networking.ibm.com/netmgt>) にアクセスしてください。

Nways Manager のインストールの前に

Nways Manager のインストールに先立って、次の点を注意してください。

- 使用している Windows NT ユーザー ID が、管理者グループのメンバーのものであることを確認します。管理者特権がない場合、インストール・プログラムは終了します。
- Nways Manager のインストールまたはアップグレードの前に、必ずアクティブ・アプリケーションをすべて終了してください。
- Nways Manager のインストール前に、必要な従属ソフトウェアがすべてインストールされていることを確認します。これにより、インストール・プログラムが、該当のソフトウェアが存在することを確認し、該当するインストール・ステップを実行することができます。
- 製品をインストールするのに十分なディスク・スペースが使用可能であることを確認します。
- この製品の README ファイルにはインストールに関する重要な注記が記載されているので参照してください。

Nways Manager をインストールする前に、必ず Nways Manager CD からライセンス・ユース・ランタイムをインストールしてください。ライセンス・ユース・ランタイムのインストール手順は、次のとおりです。

1. 次のコマンドを実行します。

```
f:¥i fornt¥setup.exe
```

ここで、*f* は Nways Manager CD が入っているドライブ名です。

2. 「*Communications*」コンポーネントと「*Runtime*」コンポーネントをインストールします。
3. システムをリブートしてから Nways Manager をインストールします。

重要

Nways Manager をインストールする前に、他の Windows NT アプリケーションをすべてシャットダウンしてください。インストール・プロセス中に使用されるファイルの内容や、そのファイルそのものの存在を利用するアプリケーションを実行している場合、インストールが失敗する可能性があります。

Windows NT アプリケーション用の IBM AntiVirus のバージョン 2 とそれ以前のバージョンは、このインストール・プログラムと互換性がありません。これに該当するバージョンの IBM AntiVirus は、Nways Manager のインストール前に必ずアンインストールしておく必要があります。このインストールが完了すれば、IBM AntiVirus を再インストールし、活動化できます。これらのバージョンの **IBM AntiVirus** の場合、非活動化するだけでは不十分です。必ずアンインストールしてください。

IBM AntiVirus を除去しておかないと、インストール・プログラムが Windows NT スタート・メニューに製品のアイコンやフォルダーを作成しません。

インストール・プログラムがプロダクトのアイコンを作成しようとしたときに問題が起こった場合は、アンチウィルス・アプリケーションがインストールされていないことを確かめてください。

Nways Manager は CD-ROM に入っています。まだ CD-ROM ドライブにこのディスクを挿入していなければ、ここで挿入します。

Windows NT システムで「Autorun (自動実行)」を ON に設定していれば、CD-ROM を挿入すると、自動的にその CD-ROM が走査されます。メイン・インストール・プログラムが始動します。

Windows NT システムで「自動実行 (Autorun)」を OFF に設定している場合、次のようにしてください。

1. Windows NT の「スタート」メニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「OK」をクリックします。
3. メイン・インストール・プログラムを開始するには、`f:\setup.exe` と入力します。この場合、`f` は CD-ROM を挿入したドライブ名です。「Enter」キーを押します。

注: 「自動実行 (Autorun)」の詳細については、Microsoft Windows NT の資料を参照してください。

インストールが開始され、「ウェルカム (Welcome)」ウィンドウが表示されます。「次へ (Next)」をクリックして、インストール・プロセスを開始します。

次のウィンドウに、インストール可能なコンポーネントのリストが表示されます。インストールしたいコンポーネントを選択します。

重要

次のリストは、IBM Nways Manager 製品のオフラインとそこに含まれているコンポーネントを示しています。

Nways Manager

Nways Manager for Windows NT のデモンストレーション・バージョン

Nways Remote Monitor for Windows のデモンストレーション・バージョン

Adobe Acrobat Reader

Nways Remote Monitor

Nways Remote Monitor for Windows

Nways Manager for Windows NT のデモンストレーション・バージョン

Adobe Acrobat Reader

Tivoli NetView-IT Director Edition、バージョン 5.1

IBM DB2 ユニバーサル・データベースのエンタープライズ拡張エディション V5.2 も、別個の CD-ROM に入っているもう 1 つのコンポーネントです。DB2 のインストールについては、11 ページの『第4章 Nways Manager のインストールと構成』で説明します。

第4章 Nways Manager のインストールと構成

メイン・インストール・プログラムは、「メイン・インストール (main install)」ダイアログの「Nways Manager」チェック・ボックスにチェックを付けると Nways Manager のインストールを開始します。Nways Manager のインストール・プログラムは、次のようにして直接実行することもできます。

1. Windows NT の「Start」メニューから、「Run...」を選択します。
2. `f:\nwayswg\setup.exe` と入力します。この場合、`f` は CD-ROM を挿入したドライブ名です。
3. 「Enter」キーを押します。

ほとんどのインストール・パネルでは、「F1」キーを押すと、該当のヘルプが表示されます。各パネルの指示に従って、その製品のインストールを行ってください。本章の残りの部分では、回避しなければならない一般的な問題と、Nways Manager のインストールに際して知っておかなければならない特殊な考慮事項について説明します。

Nways Manager バージョン 2.0 へのアップグレード

Nways Manager バージョン 2.0 を前のバージョンからアップグレードするには、必ずこの古いバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

製品のインストール

Nways Manager のパッケージに含まれている製品のどれをインストールしても、CD-ROM 上にある全製品のデモンストレーション・バージョンがインストールされます。他のプログラムについてのライセンスを購入していなくてもかまいません。これらのデモンストレーション・バージョンは、どれも正式ライセンス・バージョンにいつでもアップグレードできます。詳しくは 1 ページの『デモンストレーション・バージョン』を参照してください。

デプロイメント・マネージャー

NetView メイン・メニューから Nways デプロイメント・マネージャーを始動するには、「Tools... (ツール)」→「IBM Nways Java...」→「Open Deployment Manager (デプロイメント・マネージャーを開く)」の順で選択します。

ライセンスの管理

インストール・プロセスの途中で、Nways Manager のライセンス製品か試用バージョンをインストールしたいかが尋ねられます。製品の試用バージョンをインストールするように選択した場合、Nways Manager のコンポーネントすべてが、インストール後 60 日間有効なデモンストレーション・ライセンスを許諾してインストールされます。試用バージョンは、蓄積したデータを失うことなく、いつでも Nways Manager のライセンス・バージョンにアップグレードできます。

ライセンス製品を選択した場合、顧客番号とライセンス・キー番号を入力するためのプロンプトが出され、その後、ライセンスを購入しているノード数を入力するプロンプトが出されます。

この情報を入力し、「OK」をクリックしてインストールを続行します。

ライセンスのアップグレード

Nways Manager のデモンストレーション・バージョンからライセンス・バージョンにアップグレードするには、インストール・プログラムをリスタートしてライセンスをインストールする必要があります。

注: 新しいコードはインストールされず、既存の構成はそのまま保存されます。

ライセンス・ノード数の増加

追加したノードを管理することが可能なライセンスを購入している場合、次の手順を実行して、そのライセンスをアップグレードしてください。

1. インストール・プロセスを開始します。
2. 「Update number of nodes (ノード数の更新)」のラジオ・ボタンを選択します。
3. 「Update Licenses (ライセンスの更新)」ウィンドウで、使用可能なライセンス・ノードの合計数を入力します。これは、新規のライセンス・ノード数に、既存のライセンス・ノードを加算した数です。
4. 「OK」をクリックして、変更を保管します。

モニターするノードの決定

Nways Manager は、nwaysjma.ini というファイルの内容によって、どのノードをモニターするかを決定します。モニターしたくないノードを除去して、現行のライセンスでモニターできるその他のノード数を増やしたい場合、このファイルを編集して、モニターしたくないノードの項目を除去できます。このファイルを編集するには、IBM Nways Manager for NT グループにアクセスして、「Edit nwaysjma.ini (nwaysjma.ini の編集)」を選択します。

モニターしたいノードを追加する場合は、このファイルを編集して、それらのノードに対応する項目を作成します。これを実行するには、それらのノードのシステム・オブジェクト ID (SYSOID) がわかっていなければなりません。

このファイルのコピーは、`c:nways/bin` ディレクトリー内に作成されます。この場合、`c:` は、インストールのターゲット・ドライブです。インストールによってこのファイルは作成され、`original.nwaysjma.ini` というファイル名が付けられます。元の構成に戻すには、このファイル `nwaysjma.ini` の名前を変更します。

Java ベースの分散インテリジェント・エージェントのインストール

Java ベースの分散インテリジェント・エージェント (DIA) は、そのネットワーク内のリモート・ワークステーション上にインストールされて、パフォーマンス・ポーリングによるパフォーマンスへの影響を少なくします。DIA コードは、`nways¥java¥dia` サブディレクトリー内に入っています。ここで、`nways` は Nways Manager がインストールされているディレクトリーです。ネットワーク上の PC および Unix ベースのワークステーションへの DIA のインストールについて詳しくは、そのディレクトリー内の `README.TXT` ファイルを参照してください。

DB2 ユニバーサル・データベース

Java ベースのデバイス・マネージャーのパフォーマンス管理では、Java データベース接続 (JDBC) 準拠のデータベースを使用します。ユーザーの便宜のために、DB2 ユニバーサル・データベースのエンタープライズ拡張エディションが提供されています。

デバイス・マネージャーが JDBC を使ってアクセスできるデータベース・インスタンスが必要となるため、それを作成します。次のステップでは、DB2 を使ってこれを行う方法を示しています (別の JDBC 準拠データベースを使用している場合でも概念は同じですが、そのデータベースの説明を参照する必要があります)。

注: IBM DB2 ユニバーサル・データベース V5 を使用する場合、プログラム診断依頼書 (APAR) を検索して適用し、サーバー・プロセス内の仮想メモリーがなくならないようにする必要があります。

DB2 APAR を要求する場合には、IBM サポート担当員に連絡してください。

インストールする必要があるメモリー・リーク・パッチは、<http://www.software.ibm.com/data/db2/db2tech/indexsvc.html> から入手可能です。

IBM DB2 をインストールする手順は次のとおりです。

1. DB2 の入った CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。インストール手順が自動的に開始します。何らかの理由で自動インストール手順が開始しない場合、CD-ROM のルート・ディレクトリーで、`setup.exe` と入力します。その後、インストール手順で表示される指示に従います。
2. JDBC ドライバー (`DB2inst1¥sqlib¥java¥db2java.zip` 内にあります。`DB2inst` は DB2 がインストールされているディレクトリー) を `nways¥java¥websvr¥code` (`nways` は Nways Manager のインストールされているディレクトリー) の中に `unzip` します。このタスクを実行するために、インターネットから `unzip` プログラムを取り出さなければならない場合もあります。
3. 製品をインストールしたときに、始動時に DB2 を自動的に始動させるように選択していなかった場合、`db2start` と入力して、ここでサーバーを始動します。
4. ディレクトリー `nways¥bin` に変更して、次のコマンドを実行します。
`db2cmd CreateDatabase.bat -create`

デフォルトでは、データベースは DB2 がインストールされたディスクと同じディスク上に作成されます。このディスク区画には、少なくとも 60 ~ 100 MB の空きディスク・スペースが必要です。数週間にわたって、20 台を超える装置に関する履歴統計を保管する予定がある場合は、1 GB かそれ以上の使用可能ディスク・スペースが必要です。

DB2 を使用する手順は次のとおりです。

1. Nways Manager を始動します (「スタート」、「プログラム」、「IBM Nways Manager」、「Nways Manager」)。
2. パフォーマンス管理構成アプレット (パフォーマンス構成) を始動して、「Database (データベース)」というタブをクリックします。

- パフォーマンス管理構成アプレットは、`nways¥bin` に入り、コマンド `dpadmin` を実行することによって立ち上げられます。
 - すでに JMA を始動している場合は、上記の代わりに、ナビゲーション・ツリーから「**Performance Configuration (パフォーマンス構成)**」を選択して (「**Configuration (構成)**」 » 「**System (システム)**」 » 「**General (一般)**」 » 「**Performance (パフォーマンス)**」 » 「**Configuration (構成)**」)、パフォーマンス管理構成アプレットを始動できます。
3. 「**StartCollection**」 ボタンをクリックします。

DB2 データベースの消去

DB2 データベースをある期間使用した後に、消去しなければならない場合があります。このデータベースを消去するには、ディレクトリー `nways¥bin` に入り (`nways` は Nways Manager がインストールされているディレクトリー)、`db2cmd CreateDatabase.bat -create` というコマンドを実行します。

JDBC 対応データベースへの接続時に生じる可能性のある問題

Nways Manager から JDBC 対応データベースに接続する際に問題が起こったときは、次の解決法を試してください。

- メッセージ: **Could not find JDBC driver classes. Closing connection. (JDBC**
ドライバー・クラスが見つかりませんでした。接続をクローズします。)
- 処置: JDBC ドライバーをインストールまたは再インストールします。
- DB2 の場合、JDBC ドライバー (*DB2inst1\sqlib\java\db2java.zip* 内にあります。*DB2inst1* は DB2 がインストールされているディレクトリー) を *nways\java\websvr\code* (*nways* は Nways Manager のインストールされているディレクトリー) の中に unzip します。このタスクを実行するために、インターネットから unzip プログラムを取り出さなければならない場合もあります。
 - その他のデータベースの場合、該当のデータベースの資料を参照してください。JDBC ドライバーが *Nways classpath* (*nways\java\websvr\code*。 *nways* は Nways Manager がインストールされているディレクトリー) 内になれば、データベースへの接続はできません。
- メッセージ: **JDBC connect error. Check database URL and make sure your**
username and password are correct. Closing connection. (JDBC
接続エラー。データベース URL をチェックして、ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。接続をクローズします。)
- 処置:
- そのデータベース・システムと JDBC ドライバーが JDBC 準拠であることをチェックし、確認してください。そのデータベースは ANSI-92 SQL をサポートするものでなければなりません。
 - JDBC URL をチェックし、データベースのメーカーが指定したものであるか確かめます。これを確認する記述は、通常、そのデータベースの資料の、Java アプリケーションの実行に関するセクションで見つけることができます。第三者のドライバーを使用している場合、URL とドライバー名はそのドライバーに組み込まれているはずで、ローカルで実行している DB2 の場合は、デフォルトの URL が指定されています。
 - IBMNMPDB という名前のデータベースを作成していることを確認します。
 - DB2 を使用していない場合は、該当のデータベースの資料を読んで、これを行う方法を確認してください。
 - DB2 を使用している場合、ディレクトリー *nways\bin* に入り (*nways* は Nways Manager がインストールされているディレクトリー)、*db2cmd CreateDatabase.bat -create* というコマンドを実行します。
 - データベースを作成したディスクに少なくとも 60 ~ 100MB のスペースがあることを確認します。実際に必要となる正確なスペース量は、履歴情報がどれだけ保管されているかによって異なります。
 - 次のデータベースと JDBC ドライバーは、Nways Manager と非互換であると考えられているもので、お勧めできません。
 - Microsoft Access、JDBC-ODBC Bridge。

Web ブラウザーから Java ベース管理アプリケーションへのアクセス

Java ベース管理アプリケーションへの Web ブラウザー・ベース・アクセスには、3 つのコンポーネントが関係します。

Nways Manager ワークステーション

Nways Manager は、Web サーバーから Web ブラウザー・クライアントに送信される Nways Manager の Web ページを維持管理します。

Web サーバー

Web サーバーは、Web ブラウザーのクライアントから要求があったときに、Nways Manager の Web ページを提供します。Web サーバーは Java サポートを必要としません。Web サーバーは、Nways Manager の Web ページをデータ・ファイルと見なします。Web サーバーは、Nways Manager ワークステーションと同じワークステーション上に置くようにお勧めします。

JDK 1.1.6 準拠 Web ブラウザー・クライアント

Web ブラウザー・クライアントは、Web サーバーに Nways Manager の Web ページを要求します。

Nways Manager の全機能を使用するには、JDK 1.1.6 準拠のブラウザが必要です。ただし、JMA ヘルプや、Java パフォーマンス・マネージャーによって生成されたレポートを表示する場合は、どの Web ブラウザーでも使用できます。

Web サーバー

Web ブラウザー・クライアントが Nways Manager の Web ページを使用できるようにするには、Nways Manager の Web ページを Web サーバー内の論理ディレクトリー名と関連させる必要があります。ほとんどの Web サーバーでは、その管理プログラムを使用して論理ディレクトリー名 (*Nways* など) を指定できるようになっています。Nways Manager の Web ページは Nways Manager 上の *nways¥java¥websvr* 内にあります。この場合、*nways* は Nways Manager がインストールされているディレクトリーです。

設定

Web サーバーはすべて、必ずポート 80 (ほとんどのサーバーにおけるデフォルト・ポート) でクライアントと通信するように構成してください。以下のセクションでは、一部の共通 Web サーバーに必要な設定値を定義します。

Apache Web サーバー: ファイル *¥Server_root¥conf¥srm.conf* に、次の 3 行を示された順序どおりに追加します。

```
Alias ¥nways          "¥Nways_root¥java¥websvr"  
Alias ¥cgi¥code       "¥Nways_root¥java¥websvr¥code"  
ScriptAlias ¥cgi      "¥Nways_root¥java¥websvr"
```

ここで、*Server_root* は、Apache Websvr がインストールされているディレクトリーで、*Nways_root* は Nways 製品がインストールされているディレクトリーです。

Netscape Web サーバー:

1. そのサーバーのメイン・ページに進み、サーバーがオンになっているか確認します。
2. メニュー・バーから「プログラム」メニューを選択します。
3. 「CGI File Type (CGI ファイル・タイプ)」を選択します。
4. 「Yes (はい)」を選択して、ファイル・タイプとして CGI を活動化します。
5. メニュー・バーから「Content Management (コンテンツ管理)」を選択します。
6. 「Additional Document Directories (追加文書ディレクトリー)」を選択し、次の 4 行を追加します。

```
URL prefix: nways
Map To Directory: %Nways_root%java%websvr
URL prefix: cgi
Map To Directory: %Nways_root%java%websvr
```

Domino Web サーバー:

1. <http://Machine/Frntpage.html> に進みます。ここで、*Machine* は、Domino Web サーバーがインストールされているディレクトリーです。
2. 「Configuration and Administration Forms (構成と管理フォーム)」を選択します。これにより、<http://Machine/admin-bin/Cfgin/initial> に入ります。
3. 「Request Routing (要求のルーティング)」を選択します。これにより、<http://Machine /admin-bin/Cfgin/mpfrule> に入ります。
4. 次の 3 行を示された順序で追加します。

処置	要求テンプレート	置換ファイル・パス
Pass	%nways%*	%Nways_root%java%websvr%*
Exec	%cgi%CgiLauncher*	%Nways_root%java%websvr%CgiLauncher*
Pass	%cgi%*	%Nways_root%java%websvr%*

JDK 1.1.6 準拠 Web ブラウザー

Java サポートはブラウザーに付属してきます。

注: Microsoft Internet Explorer バージョン 4.x か 5.x を使用している場合、次の Web サイトで「*other options* (その他のオプション)」を選択して、Java 仮想マシンを更新する必要があります。 <http://www.microsoft.com/windows/ie/download/default.asp>

Nways Manager で使用するようにブラウザーを構成する方法については、[nways%java%websvr%help%ibm.nways.subsys.webtoc.html](#) というファイルに詳しい説明が入っています。*Nways* は Nways Manager がインストールされているディレクトリーです。

ブラウザの構成が済んだら、Nways Manager HTML ページの URL を Web ブラウザーに指定することによって、その装置の Java ベース管理アプリケーションにアクセスできるようになります。

動的 IP アドレスで Nways Manager の使用

Java 通信では、IP アドレスではなく IP ホスト名を使用するため、クライアントとサーバーは両方とも、その通信先の正しいホスト名を必要とします。クライアントに IP アドレスが動的に割り当てられている場合、この IP アドレスがそのクライアントの IP ホスト名に関連付けられていることを確かめる必要があります。このプロセスは、動的ホスト構成プロトコル (DHCP) を使用している NetView for NT で正しい働きをします。

注: HP OpenView Network Node Manager on Windows NT は、現在 DHCP をサポートしていません。

クライアントが、サーバーとの接続に PPP プロトコルを使用している場合、そのクライアントに IP アドレスと IP ホスト名の両方を動的に割り当てます。この状態では、Windows NT クライアントは、そのクライアントで実行している Java アプリケーションに正しい IP ホスト名を提供できません。そのため、Java ベースのアプリケーションはサーバーに正しい IP ホスト名を提供できず、サーバーはクライアントに非同期 (非送信請求) イベントを送信できません。この問題を訂正するには、クライアント上の IP ホスト名を、PPP 接続の TCP/IP プロトコルの "localhost" に変更します。これにより、Windows NT クライアントの Java コードが、サーバーに正しい (動的に割り当てられた) IP ホスト名を提供します。

ホストの名前を TCP/IP プロトコルの "localhost" に変えるには、次のステップを実行します。

Windows NT 4.0 の場合

1. デスクトップで「**Network Neighborhood (ネットワークコンピュータ)**」アイコンを選択し、右マウス・ボタンをクリックします。
2. 表示されるポップアップ・メニューで、リストの一番下にある「**Properties**」を選択します。
3. ダイアログの一番上に表示されている「**Protocols**」タブを選択します。
4. 表示されるリストの中から TCP/IP プロトコルを選択し、リストの一番下の「**Properties...**」ボタンをクリックします。
5. 次に表示されるダイアログの一番上の「**DNS**」タブをクリックします。
6. "Host:" というテキスト入力フィールドに、マシンの新しい名前として "localhost" (引用符なし、すべて小文字、スペースなし) を入力します。
7. 2 つのダイアログの最下部にある「**OK**」ボタンをクリックし、指示されたらマシンをリブートします。

この方法でホスト名を変更しても、「Network Neighborhood (ネットワーク近隣) プロパティ」の「Identification (識別)」セクションにあるコンピューター名は変更されず、専用 LAN 接続にまたがってコンピューター名も変更されません。

Java ベースの管理アプリケーション・ヘルプへのアクセス

Java ベースの管理アプリケーションは、Web ブラウザーを使用してその HTML ヘルプ・パネルを表示します。Nways Manager のインストール・プログラムは、NT レジストリーを調べて、デフォルト・ブラウザの所在を確認しようとします。Nways Manager のインストール・プログラムは、認識できるデフォルト・ブラウザを見付けると、Nways Manager にそれを使用するよう指示します。

認識できるブラウザを見付けられない場合は、

`nways\¥java¥websvr¥properties¥BrowserApplet.txt` 内にパスを指定するように要求する警告メッセージを出します。`"webBrowser.path="` 行に Web ブラウザーの完全修飾名を指定してください。`nways` は、Nways Manager がインストールされているディレクトリーです。

機器構成プログラムについて

IBM ネットワーキング製品の中には構成プログラムが組み込まれているものがあります。Nways Manager では、これらの構成プログラムをその装置の JMA から立ち上げることができます。

JMA から構成プログラムを立ち上げるには、Nways Manager が、Nways 管理ワークステーション上での構成ツールの位置を知っていなければなりません。1998 年 7 月以降に出荷された構成ツールの場合、構成ツールのインストール時に、この情報がプログラム・レジストリーに追加されます。

古いバージョンの構成ツールを見付けるために、Nways Manager は Config Tool Locator を組み込んでいます。これは、Nways 管理ワークステーションにすでにインストールされている既存バージョンの構成ツールを見付けるものです。Nways Manager をインストールするときにこの Config Tool Locator を実行する必要がありますが、最初の出荷が 1998 年 7 月より前になっている構成ツールをインストールする場合にも、そのつどこれを実行します。

「スタート」メニューから Config Tool Locator を実行するには、「プログラム」 » 「IBM Nways Manager」 » 「Config Tool Locator」を選択します。

Config Tool Locator が Nways 管理ワークステーションにロードされている構成ツールを見付けられない場合、次の手順によってこのプログラムの位置をレジストリーに追加できます。

1. パス `nways/java/fixcfg` 上で正しい構成ツール (`cfg.exe` または `cfg.app` ファイル) を見付け、ファイル・サイズをメモします。
2. Config Tool Locator の `FixCfg.properties` ファイルをチェックして、この構成ツールのファイル・サイズが固有であることを確認します。
3. 既存項目をモデルとして使用し、`FixCfg.properties` ファイルに新しい項目を追加します。
4. Config Tool Locator を再実行します。
5. JMA をリスタートします。

第5章 Nways Manager のアンインストール

本章では、アプリケーションのアンインストールの方法を説明し、アプリケーションを再インストールする場合の特殊な考慮事項を紹介します。

Nways Manager のアンインストール

Nways Manager for Windows NT のアンインストールは、Windows NT の「コントロール パネル」の「アプリケーションの追加と削除」アイコンを選択して行います。「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログには、そのシステムにインストールされているアプリケーションのリストが表示されます。「**IBM Nways Manager**」を選択し、「追加と削除」をクリックし、システムからこのアプリケーションを削除します。

アンインストール・プロセスによって、そのインストール中に作成されたファイルがすべて削除されます。また、レジストリー変更と、インストール中に .ini タイプのファイルに行われた変更もすべて取り消されます。ただし、プログラムの実行中に作成されたファイルと、全プロダクト・ディレクトリー・ツリーは削除されません。

アンインストールの完了後は、次のステップを実行して、アプリケーション・データ・ファイルとディレクトリーを完全に削除する必要があります。

1. Nways Manager README ファイルを参照して、システムから Nways Manager を完全に削除するために必要な追加情報を確認します。
2. Web サーバー・アプリケーションの構成プログラムを実行します。ディレクトリーのリストから、`nways¥java¥websvr` ディレクトリーを削除します。
3. `nways` ディレクトリーを削除します。

これで、Nways Manager for Windows NT はシステムから完全に削除されました。

付録. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本書において IBM 以外の Web サイトに言及していることがありますが、便宜上記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM プロダクトの資料の一部ではなく、それらの Web サイトは、お客様の自己責任のもとでご使用ください。

商標

次の用語は、IBM Corporation の米国またはその他の国における商標です。

Nways	Etherstreamer	Netfinity
DB2	IBM	LANStreammer
DB2 Universal Database		

Java と HotJava、および Java のロゴは、Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows 95 と Windows 98 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Pentium[®] は Intel Corporation の商標です。

Navigator は Netscape Communications Corporation の商標です。

Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc. の登録商標です。

他の会社名、製品名、またはサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



部品番号: CT7SNNA

Printed in Japan

SB88-7425-00



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

CT7SNNA

